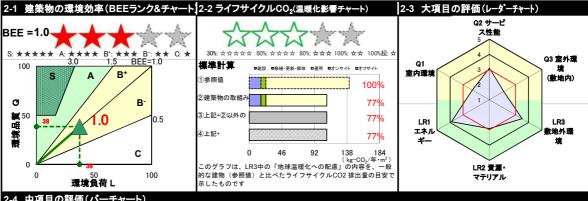
CASBEEあいち

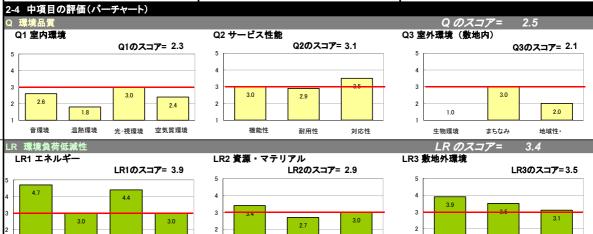
▮ 評価結果 ▮

-ユアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI







D地球温暖化への配慮		③敷地内の緑化		
	3. 9		1.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
~ ~ ~				5.3 %
				建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
				0.0 %
資源の有効活用		④地域材の活用		
	2. 9		1. 0	<外装材に使用した地域性のある材料>
				なし
Co Co				<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材
				なし

非再生材料の

水資源

汚染物質

地球温暖化

地域環境

周辺環境

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮 LR-3 1 地球温暖化への配慮 LR-3 「 地球温暖だへの配慮 ②資源の有効活用 Q-2 配用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減 ③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

建物外皮の

自然エネ

設備システ

効率的

敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた 屋上緑化面積+壁面緑化面積 建物緑化指数=



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

(BX 77°/)DCMカーマ豊田五ケ丘店 新築工事		欄に数値またはコメントを記入 ■	評価ソフト:		CASBE	ב-סט_ויינ	2010(v2.1)_A	AICHI
スコア	シート 実施設計段階									
配慮項	T 🛮	独自基準重点項目	」 環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共月	建物全体· 評価点	重み	居·宿泊部 評価点		重み	全体
	築物の環境品質	显然项目		et iiii Ai	門Ш州	係数	四十二四 元	これ はいいい こうしゅうしゅう	係数	2.5
	(宋初少孫死而員 E内環境					0.40		į		2.3
	F環境			88988	2.6	0.15	000000	00000		2.6
	1.1 室内騒音レベル	-			3.0	0.40		XXXX		2.0
				× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	3.0			****	-	l
	1.2 遮音	-		00000		0.40	XXXXXXX	00000	-	
	1 開口部遮音性能			- KXXXX	3.0	1.00	XXXXX	XXXX	-	l
	2 界壁遮音性能			1000000	XXXXXX	-		***	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝擊源)			88888	88888	-	B88888	8888	-	
	4 界床遮音性能(重量衝擊源)			XXXXX	XXXXXX	-	XXXXXX	XXXX	-	
	1.3 吸音			XXXXX	1.0	0.20	XXXXX	88888	-	
2 温	熱環境			XXXXX	1.8	0.35	****	xxx	-	1.8
	2.1 室温制御			XX9X9XX	2.6	0.50	XXXXX	‱	-	
	1 室温			XXXXX	3.0	0.50	XXXXX	XXXXX	-	
	2 外皮性能			1888888	1.0	0.17	KXXXXI	8888	-	
	3 ゾーン別制御性			RXXXX	3.0	0.33	XXXXX	‱и	-	
	2.2 湿度制御			1XXXX	1.0	0.20	XXXXXX	XXXXX	-	
	2.3 空調方式			1888888	1.0	0.30	KXXXXI	8888	_	
3 *	±		i	₩	3.0	0.25	XXXXX	XXXX	-	3.0
	3.1 昼光利用		 	1888	3.0	0.50	88888	****		1.0
	1 昼光率		l	 		-		XXXXX i		
	2 方位別開口		I	RXXXX	88888		B88888	KXXXX		
	2 万位別開口 3 昼光利用設備	-	I	18888	3.0	1.00	XXXXX	RXXXX		
-		-	I		XXXX	1.00	*************************************	₩		
	3.2 グレア対策		I	00000	88888	-	88888	8888		
_	1 昼光制御	_		188888	‱	-	XXXXX	XXXX	-	
	3.3 照度			1000000	XXXXXX			***	-	
	3.4 照明制御			233033	3.0	0.50	XXXXX	XXXX	-	┞
	2気質環境			<u></u>	2.4	0.25	₩₩	‱	-	2.4
	4.1 発生源対策			\Q Q \ Q \Q	3.0	0.50	000000	XXXXX	-	
	1 化学汚染物質			******	3.0	1.00	*****	XXXX	-	
	4.2 換気			}	1.0	0.30	XXXXXX	222222	-	
	1 換気量			XXXX	1.0	0.50	XXXXX	XXXX	-	
	2 自然換気性能			1888888	****	-	XXXXXX	8888	-	l
	3 取り入れ外気への配慮			RXXXX	1.0	0.50	XXXXX	‱и	-	
	4.3 運用管理			XXQXX	3.0	0.20	XXXXXX	$\Diamond \Diamond $	-	
	1 CO₂の監視			5000000	_ <u> </u>	-	XXXXX	88888	-	
	2 喫煙の制御			88888	3.0	1.00	B88888	8888	-	
)2 +	ナービス性能				-	0.30		-	-	3.1
1機	能性			25562455	3.0	0.40	288888	99999	-	3.0
	1.1 機能性・使いやすさ			88888	3.0	0.40	*****	8888	-	
	1 広さ・収納性			 	888888	-	XXXXX	22222 1	_	
	2 高度情報通信設備対応			XXXX	RXXXXX	_	888888	XXXX	_	
	3 バリアフリー計画	独自	1	1000000	3.0	1.00	‱∞	‱⋈	_	
	1.2 心理性・快適性	740	1		2.6	0.30	888888	8888		
	1 广大威、吴钼 (工井吉)	-	 天井高は、4.5mである。	0360	5.0	0.33	KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXX		
	1 広さ感・景観 (天井高)		PARTIE TO THE CONTROL	1000000	2.0	0.33	KXXXXX	⋘⋘		
	2 リフレッシュスペース	-	I	RXXXX			K88888	8888		
	3 内装計画		I	XXXX	1.0	0.33	KXXXXXX	****	-	
	1.3 維持管理		注题从 1.46时 体丛体 4.15 A 22 产	×	3.5	0.30	XXXXXX	XXXXX	-	
	1 維持管理に配慮した設計		清掃性及び防錆対策などの配慮。	XXXX	4.0	0.50	K88888	8888	-	
	2 維持管理用機能の確保			<u></u>	3.0	0.50	XXXXX		-	
	才用性·信頼性			<u> (0,0,0,0)</u>	2.9	0.31	XXXXX	XXXX	-	2.9
	2.1 耐震·免震·制震·制振		I	<u> </u>	3.0	0.48	XXXXXX	8888	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)		l	 	3.0	0.80	*******	XXXX	-	
	2 免震·制震·制振性能		l	1888	3.0	0.20		XXXX	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		I	XXXX	3.2	0.33	XXXXXX	*****	-	
	1 躯体材料の耐用年数			₩ ₩	3.0	0.23	XXXXXX	XXXX	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2	l	18888	2.0	0.23	XXXXX	XXXX	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用している。	1000000	5.0	0.09	XXXXX	XXXXX	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			 	3.0	0.08	888888	88888	-	
	5 空調·給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用している。	188888	5.0	0.15	XXXXX	XXXX	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔			1000000000000000000000000000000000000	3.0	0.13	XXXXX	XXXX		
	2.4 信頼性		1	RXXXX	2.4	0.19	*****	8888		
			i	0000	3.0	0.19	XXXXX	XXXX		
	· == 10-7 3249-4102-910	-	l	1888888			XXXXXX	XXXX		
	2 給排水・衛生設備		I	XXXX	2.0	0.20	RXXXXXX	88888	-	
	3 電気設備	2		XXXX	3.0	0.20	88888	****	-	
		2		****	3.0 1.0 3.0	0.20 0.20 0.20	****	***	-	

3 対応性・更新性		 	155565255	3.5	0.29	100000000000000000000000000000000000000	-	3.5
3.1 空間のゆとり			XXXX	5.0	0.31	*************************************	-	
1 階高のゆとり		階高は6.79mである。	8888	5.0	0.60	XXXXXXXXXXX	_	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率は0.079である。	KXXXX	5.0	0.40	KXXXXXXXXXXX		
		主民でお中は0.070である。	XXXX	3.0		XXXXXXXXXXX	-	
3.2 荷重のゆとり			KXXXX		0.31	000000000000000000000000000000000000000	-	
3.3 設備の更新性			$\infty \infty$	2.8	0.38	XXXXXXXXXXX	-	
1 空調配管の更新性	2		100000	3.0	0.17	XXXXXXXXXXX	-	
2 給排水管の更新性			KXXXX	1.0	0.17	XXXXXXXXXX	-	
3 電気配線の更新性			18888	3.0	0.11	XXXXXXXXXX	-	
4 通信配線の更新性		仕上材を痛めずに改修・更新が可能である。	KXXXX	5.0	0.11	XXXXXXXXXXX	_	
		EL NEMO / LEGIS CAIN THE COURS	XXXX	3.0	0.22	XXXXXXXXXX		
			KXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
6 バックアップスペースの確保			5555555	3.0	0.22	5888888888888	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出	独自③		XXXX	1.0	0.30	XXXXXXXXXXX	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自4		KXXXX	3.0	0.40	XXXXXXXXXXXX	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0000	2.0	0.30	 	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		33333	2.0	0.50	*************	-	
	44	1	RXXX			888888888888888888888888888888888888888		
3.2 敷地内温熱環境の向上			KXXXX	2.0	0.50	0000000000	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			ļ l		-		-	3.4
LR1 エネルギー				_	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.83	****	4.7	0.30	KXXXXXXXXXX	-	4.7
2 自然エネルギー利用			XXXX	3.0	0.20	XXXXXXXXXX	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm=0.73	XXX	4.4	0.30	*****		4.4
	—	DEMII-0.70	OC#YO			 		
4 効率的運用			XXXX	3.0	0.20	***************************************	-	3.0
集合住宅以外の評価	İ	I	XXXXX	3.0	1.00	XXXXXXXXXXX	-	
4.1 モニタリング	ĺ		XXXX	3.0	0.50	***************************************	-	
4.2 運用管理体制	İ	I	(8888)	3.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
集合住宅の評価	İ	I	XXXXX	XXXXXX	_	KXXXXXXXXXXX	-	
	ĺ		8888	80000		XXXXXXXXXX		
4.1 モニタリング	ĺ		RXXXX	******	-	XXXXXXXXXXX	-	
4.2 運用管理体制			88888	P SSSSSSS	-	XXXXXXXXXXXXX	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			$\times \times \times$	3.4	0.15	XXXXXXXXXXX	-	3.4
1.1 節水		給水器具の過半に節水機能のあるものを採用している。	XXXXX	4.0	0.40	XXXXXXXXX	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	İ		X390X	3.0	0.60	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	_	
1 雨水利用システム導入の有無	ĺ		XXXXX	3.0	0.67	XXXXXXXXXXX		
	ĺ		XXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			(3,5,5,5)	3.0	0.33	***********	-	
2_非再生性資源の使用量削減	<u> </u>		XXXX	2.7	0.63	***************************************	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			88888	2.0	0.07	XXXXXXXXXXXX	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			XXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXX	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2	_	KXXXX	3.0	0.21	XXXXXXXXXXX		
	独自	<u> </u> _	XXXX	1.0	0.21	XXXXXXXXXXX	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独日		1000000	1.0	0.21	XXXXXXXXX	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			88888	- 18	-	888888888888888888888888888888888888888	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上材の分離が容易である。	80000	4.0	0.25	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			XXXX	3.0	0.22	XXXXXXXXXXX	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	XXXXXXXXXXXX	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	ĺ		XXXXX	3.0	0.68	XXXXXXXXXX	_	
	İ	I	2000	1 0.0	0.00	XXXXXXXXXX		
1 消火剤	ĺ	1	KXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 発泡剤(断熱材等)	İ	I	KXXXX	3.0	0.50	XXXXXXXXXX	-	
3 冷媒		<u> </u>	KX88X	3.0	0.50	188888888888888888888888888888888888888	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	(1)	CO2排出率:77%。	KXXXX	3.9	0.33	10000000000	-	3.9
2 地域環境への配慮			XXXX	3.5	0.33	**************************************	-	3.5
		燃焼機器を設置していない。	XXXX	5.0	0.33	**************************************	-	0.0
2.1 大気汚染防止	İ	Mic NU INCHE C IX III C C U ''み U ' o	KXXXX	XI K		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	ĺ	1	888888	3.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		J	XXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
1 雨水排水負荷低減	独自	1	KXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXXX	-	
2 汚水処理負荷抑制		1	KXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
3 交通負荷抑制	独自	- 十分な駐車スペース、荷捌きスペースを確保している。	KXXXX	5.0	0.25	KXXXXXXXXXX		
	74 H	1 2 0 91 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	XXXX	N K		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
4 廃棄物処理負荷抑制			XXXX	1.0	0.25	XXXXXXXXXX	-	<u> </u>
3 周辺環境への配慮			XXXX	3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
1 騒音	独自	I	XXXX	3.0	1.00	RXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 振動	独自	I	KXXXX	9 - 1	-	XXXXXXXXXXXX	-	
3 悪臭	3.4 1	1	RXXXX			XXXXXXXXXXX		
	İ	I		20	0.40	XXXXXXXXXXX		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	ĺ	1	XXXX	3.0	0.40	XXXXXXXXXXX	-	
1 風害の抑制	İ	I	KXXXX	3.0	0.70	XXXXXXXXXXX	-	
2 砂塵の抑制	ĺ	1	RXXXX	****	-	RXXXXXXXXXXXX		
3 日照阻害の抑制	İ	I	KXXXX	3.0	0.30	XXXXXXXXXX	-	
3.3 光害の抑制	İ	I	XXXX	3.7	0.20	KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
		I	V///			10000000000		
	l	【光雲対策ガイドラインのチェックリストの一部を満足している	DOXXX	40	0.70	DOOOOOO	_	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満足している。	****	4.0 3.0	0.70 0.30	***********	-	

■使用評価マニュアル<mark>CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引</mark>き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項	[目(配慮項目)	評価点 全体に対する 重み係数		重点項目スコア		
1	地球温暖化	対策			3. 9		
	LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10			
2	資源の有効	活用			2. 9		
	Q2-2	耐震性·信頼性	2.9	0.09			
	Q2-3	対応性·更新性	3.5	0.09			
	LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19			
3	敷地内の緑	化			1. 0		
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:5.29%/建物緑化:0%		
4	地域材の活	用	(評価ポイント)		1. 0		
	Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	_	なし		
	Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし		

■重点項目スコア算出式 各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

	計画上の配慮事項
総合	豊田市に計画された物販店舗である。 高効率な設備機器の導入や、燃焼機器を設けないことにより環境負荷の低 減に配慮した建物である。 また駐輪場・駐車場を計画することで近隣の渋滞緩和など、近隣への配慮も 行っている。
Q1 室内環境	・必要に応じた空調設備計画がなされており、安定した環境を保っている。
Q2 サービス性能	・階高を確保し、壁長さ比率を0.1未満に抑える事で、空間のゆとりを持たせ対応性・更新性の向上に配慮している。 ・耐用年数の配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	・空地を多く設けることにより、風の通り道を確保している。
LR1 エネルギー	・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。 ・LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑えている。
LR2 資源・マテリアル	・躯体と仕上材の分別を容易にする事で、非再生性資源の使用量削減に配 慮している。
LR3 敷地外環境	・燃焼設備を設けず、オール電化とすることで敷地外への大気汚染防止に配慮している。 ・駐輪場・駐車場の計画は利便性、交通渋滞緩和に配慮している。
その他	